

Adobe® Photoshop® Lightroom® 2.2 お読みください

Adobe® Photoshop® Lightroom® 2.2 をご利用いただき、ありがとうございます。この文書には、最新製品情報、機能についての注意事項、およびトラブルシューティング情報が記載されています。

必要最小システム構成

Lightroom 2.2 のインストール

シリアル番号

アップグレードに関する情報

プログラムに関する一般的な情報

Lightroom 2.2 の新機能

Lightroom 2.2 と Adobe Photoshop Camera Raw の連携

サポートについて

その他のリソース

必要最小システム構成

Windows

- プロセッサ：インテル® Pentium 4
- OS：Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2) 日本語版 (32-bit 版対応)、または Windows Vista® Home Premium、Business、Enterprise または Ultimate 日本語版 (32-bit/64-bit 版対応)
- RAM：1 GB
- ハードディスク：1 GB の空き容量のあるハードディスク
- メディア：CD-ROM ドライブ
- ディスプレイ：1024 x 768 のモニター解像度
- アップデータ利用などのためにブロードバンドインターネット接続

Macintosh

- プロセッサ：PowerPC® G4、G5 または インテル® プロセッサ
- OS：Mac OS X v10.4.11 日本語版 (32-bit 版対応) - v10.5.2 日本語版 (インテル プロセッサ搭載機種で 32-bit/64-bit 版対応)
- RAM：1 GB
- ハードディスク：1 GB の空き容量のあるハードディスク
- メディア：CD-ROM ドライブ
- ディスプレイ：1024 x 768 のモニター解像度
- アップデータ利用などのためにブロードバンドインターネット接続

Lightroom 2.2 のインストール

次のいずれかの手順に従ってください。

1. Lightroom がインストールされているコンピュータの場合：
 - a. アドビの Web サイトから Lightroom 2.2 アップデートをダウンロードします (<http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/>)。
 - b. フォルダを開いて Adobe Photoshop Lightroom (Windows または Macintosh) をダブルクリックし、画面の指示に従います。
2. 旧バージョンの Lightroom がインストールされていないコンピュータの場合：
 - a. 最新バージョンの Lightroom はアドビの Web サイトからダウンロードすることができます。Lightroom 2.2 へアップデートする前に Lightroom 2.0 をインストールしておく必要はありません。利用可能な最新の Lightroom 2.2 をダウンロードしてインストールしてください (<http://www.adobe.com/jp/downloads/updates/>)。
 - b. フォルダを開いて Adobe Photoshop Lightroom (Windows または Macintosh) をダブルクリックし、画面の指示に従います。

Macintosh : Lightroom 2 は、初期設定では 32 ビットアプリケーションです。OS X 10.5 を使用しているインテルベースのコンピュータで Lightroom 2 を 64 ビットアプリケーションとして使用するには、アプリケーションフォルダで「Adobe Lightroom 2」を選択し、情報を見る (Command+I キー) を選択して、「32 ビットモードで開く」チェックボックスをオフにします。

Windows : Lightroom 2 のインストーラには、32 ビット版および 64 ビット版の両方が含まれています。初期設定では、64 ビット版は、64 ビット版の Windows Vista オペレーティングシステムのみでインストールできます。それ以外のオペレーティングシステムでは、初期設定で 32 ビット版がインストールされます。

シリアル番号

1. 現在 Lightroom 2 を使用しているお客様は、シリアル番号を再入力する必要はありません。
2. シリアル番号は、CD カバーの背面に記載されている 24 桁の英数字 (例 : 0000 0000 0000 0000 0000 0000) です。オンラインまたはダウンロード販売 (ESD) で購入した場合、シリアル番号は、オンラインストアのレシートページと、確認電子メールの両方に記載されます。この番号は、Photoshop Lightroom のインストール時に必要となります。
3. アップグレードライセンスを購入した場合、Lightroom 1 のシリアル番号を入力する必要があります。Lightroom 1 のライセンスを登録済みのコンピュータの場合は、入力する必要はありません。

アップグレードに関する情報

- Lightroom 1 カタログは、Lightroom 2 を起動してから選択して更新することができます。
- Lightroom 2 でカタログを更新しても、元の Lightroom 1 カタログは削除されません。Lightroom 2 の 30 日間の体験版を使用して旧バージョンのカタログを更新した場合、いつでも Lightroom 1 に戻って以前のカatalogを再び使用することができます。ただし、Lightroom 2 カタログに更新して Lightroom 2 で編集を行った場合、Lightroom 1 では反映されません。
- Lightroom 2 英語版パブリックベータのカタログは、Lightroom 1 カタログと同じ手順で更新できます (ただし、Lightroom 2 英語版パブリックベータで画像に適用した部分補正に、変化が見られる場合があります)。
- 同じ Lightroom 1 カタログを 2 回以上更新しようとする、前に更新したカタログの保存場所が表示されます。

プログラムに関する一般的な情報

既知の問題

- 64 ビット版の Lightroom (Windows 用) では、書き出した画像をディスクに焼き込むことができません。
- カタログの読み込み中に Lightroom 1 カタログを更新すると、更新中にカタログの一時コピーが複製されることがあります。
- Windows のごみ箱に大量のファイルが残っている場合、Lightroom の動作性能に影響することがあります。
- Windows Vista コンピュータにメモリカードが挿入されたときに、Lightroom の読み込みダイアログが自動的に起動しないことがあります。ライブラリモジュールで「読み込み」ボタンを選択して、挿入したカードリーダーを選択して読み込みを開始してください。

サポートされているファイル形式

- JPEG
- TIFF (8 ビット、16 ビット)
- PSD (8 ビット、16 ビット)
- DNG
- RAW (サポートされている RAW ファイルについては、<http://www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html> を参照してください。Lightroom 2.2 でのファイルのサポートは、Camera Raw 5.2 と同様です)

新たに追加されたサポート対象カメラ

キヤノン EOS 5D Mark II
キヤノン PowerShot G10
パナソニック DMC-G1**
パナソニック DMC-FX150**
パナソニック DMC-FZ28**
パナソニック DMC-LX3**
ライカ D-LUX 4**

** Lightroom 2.2 および Camera Raw 5.2 リリースでは、パナソニック DMC-LX3、パナソニック DMC-FX150、パナソニック DMC-FZ28、パナソニック DMC-G1 およびライカ D-LUX 4 における DNG ファイルの扱いに関して重要な例外事項があります。

現時点では、これらの機種ネイティブ形式（独自形式）から DNG ファイル形式への変換を選択した場合、リニア DNG ファイルにしか変換できません。リニア DNG 形式は、レッド/グリーン/ブルーの 3 チャンネルの情報がモザイク状に配置された単一レイヤーのデータを、モザイク解除処理によりチャンネル別の 3 つのレイヤーに変換します。そのため、生成されるリニア DNG ファイルは、モザイク DNG ファイルや元の独自形式と比べて約 3 倍のサイズになります。

この例外事項は、変換後の DNG ファイルをサードパーティ製ソフトウェア上で表示する際、レンダリング結果にパナソニックおよびライカ独自形式 RAW ファイルの本来意図する画像レンダリング特性を確実に反映するための暫定的な措置です。Lightroom 2.2 および Camera Raw 5.2 で元の独自形式 RAW ファイルを表示する際には、同じ画像レンダリング処理が自動的に適用されます。

将来のリリースでは、レンズ補正情報のメタデータを DNG ファイルに埋め込むオプションを盛り込んだ DNG 仕様に改訂し、モザイク DNG の変換を可能にする予定です。それまでの間は、サードパーティ製 Raw コンバータ、以前のバージョンの Camera Raw プラグイン、または以前のバージョンの Lightroom とのデータ互換性が必要な場合にのみ DNG ファイルへの変換を行うことをお勧めします。

サポートされていないファイル形式

- CMYK ファイル
- 合成画像なしで保存された PSD ファイル（「互換性を優先」を設定することなく保存された PSD ファイル）
- 幅または高さが 65,000 ピクセルより大きいファイル（合計 512 メガピクセル）
- ビデオファイル（デジタルカメラで撮影されたビデオファイルなど）

Lightroom 2.2 の新機能

本リリースの目的は、Lightroom の 2.0 リリースに存在する問題への対処と、Camera Raw サポートの追加です。本リリースで修正された問題の包括的なリストを以下に示します。

Lightroom 2 の問題（修正済み）

- スライドショーの書き出し処理で描画される画像において、鋭いエッジ部分の画質が、通常の JPEG 書き出しの場合と比べてジャギーになる。
- Web ギャラリーラベルに 150 文字を超える文字数を使用できない。
- カタログに数百個のルート（最上位）フォルダがある場合に、起動時間が非常に長くなる。
- サブフォルダをドラッグして別のフォルダにドロップすると、グリッドに異なる写真が表示される。
- 特定の条件下でシャープ（プリント用）を実行すると、エッジに不自然な処理が発生することがあります。
- スライダの位置に関係なく 100 パーセントになるはずの枠線の初期濃度が、100 パーセントにならない。
- 特定の条件下で枠線に補正ブラシをかけると、直線的でむらのあるエッジになる。
- 特定の条件下で段階フィルタを使用すると、Lightroom が応答しなくなることがある。
- 段階フィルタを非表示のピンに適用した後に、補正ブラシの設定を編集できなくなることがある。
- 補正ブラシの適用時に自動マスクをオンにすると、Lightroom のパフォーマンスが低下する。

- 縦横比がパノラマの写真を印刷する際に JPEG への出力機能を使用すると、低解像度の画像が生成される。
- 長いフォルダ名を使用すると、Photoshop で編集機能が機能しなくなる。
- スマートコレクションが、カスタムメタデータの変更を反映しない。
- 補正ブラシの適用時に自動マスクをオンにすると、パフォーマンスが低下する。

Lightroom 2 の機能拡張

- カメラプロファイルが現像モジュールのキャリブレーションパネルで使用できるようになりました。カメラプロファイルでは、RAW キャプチャのさまざまな設定を使用できるようになりました。

Lightroom 2.2 と Adobe Photoshop Camera Raw の連携

Lightroom と Photoshop Camera Raw には、RAW に対応しているすべてのアプリケーションで処理の一貫性と互換性が確保されるように、同一の画像処理テクノロジーが搭載されています。RAW に対応しているアプリケーションには、Photoshop CS4、Photoshop Elements 7、Premiere Elements 7 などがあります。

Photoshop Camera Raw 5.2

アドビアプリケーションにおいて Lightroom 2.2 の現像モジュールの設定および Photoshop との統合機能に対する互換性を確保するには、Camera Raw 5.2 プラグインへアップデートする必要があります。Photoshop のユーザは、ヘルプメニューに表示されるアップデートツールを使用して、Camera Raw プラグインを自動的にアップデートできます。Camera Raw 5.2 プラグインは、アドビの Web サイト

(www.adobe.com/jp/products/photoshop/cameraraw.html) にアクセスして手作業でダウンロードおよびインストールすることもできます。インストールの手順には厳密に従ってください。

Camera Raw との Lightroom 設定の共有

初期設定では、Lightroom の現像モジュールの設定は、Lightroom のデータベースに保存されます。Lightroom の現像設定を Camera Raw 5.2 でも表示させるには、そのファイルの現像設定が XMP メタデータに書き込まれている必要があります。このメタデータは、RAW ファイルの現在の画像ディレクトリの XMP サイドカーファイル（ファイル名.xmp）に保存されるか、DNG ファイル内に直接保存されます。画像を最新の現像設定で更新するには、ライブラリモジュールを選択し、対象の画像を選択します。Command または Ctrl+S キーを押して設定を XMP メタデータに保存します。

Camera Raw 5.2 での Lightroom 設定の表示

Lightroom と Camera Raw を連携させる前に、Camera Raw の環境設定を「画像設定の保存先: サイドカー ".xmp" ファイル」に設定してください。初期設定では、Camera Raw は Lightroom の現像モジュールで設定した画像の調整と同じように表示します。

Lightroom での Camera Raw 設定の表示

以前のバージョンの Camera Raw で編集された RAW ファイルは、Lightroom に読み込まれた後も、まったく同じように表示されます。注意：これらのファイルは、Lightroom が以前の編集内容を認識できるように、環境設定が「画像設定の保存先: サイドカー ".xmp" ファイル」に設定されているときに編集されていなければなりません。Lightroom に読み込まれた後に Camera Raw で編集されたファイルは、メタデータメニューから、「メタデータをファイルに保存」を選択して Lightroom で更新することができます。注意：このメニューオプションは Lightroom のライブラリモジュールのみで使用できます。

Camera Raw と Lightroom に関する補足事項

- Camera Raw は、Lightroom のライブラリモジュールのメインの画像に適用されている現在の設定のみを読み取ります。仮想コピーでの調整は、Camera Raw では表示または使用できません。
- Lightroom で作成されたスナップショットが、Camera Raw 5.2 で表示可能な設定として利用できるようになりました。

サポートについて

カスタマーサービス

ご購入前のアドビ製品に関するお問い合わせ、お電話による製品のご注文、アドビストアに関するお問い合わせや、ユーザ登録、ご購入後のロック解除手続きなど、テクニカルサポート以外のお問い合わせについて提供しております。お問い合わせ方法につきましては、アドビホームページ (<http://www.adobe.com/jp/>) 内の「お問い合わせ」からご確認ください。

サポートプランとテクニカルリソース

サポートプランやトラブルシューティングリソースなどを含む製品の技術的なサポートが必要な場合は、<http://www.adobe.com/jp/support/> を参照してください。無償のトラブルシューティングリソースには、アドビのサポートデータベース、ユーザフォーラムなどがあります。

その他のリソース

デザインセンター (<http://www.adobe.com/jp/designcenter/>)

シンクタンク、ダイアログボックス、チュートリアルなどのさまざまなコンテンツがあります。

Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe, Photoshop and Lightroom are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All trademarks noted herein are the property of their respective owners.

<AdobeIP# A0000645>

08/11/27